

介護職イメージ調査 結果報告書

令和8（2026）年5月

柏崎市福祉保健部介護高齢課

■調査目的

介護人材の不足が介護業界の課題となっている中、人口減少、少子高齢化、生産年齢人口の減少が進み、今後更に不足することが懸念されている。このような状況から、新たな介護人材確保事業の展開、推進を図るため、市民の介護へのイメージや潜在的なニーズの掘り起こし、現状の把握と課題抽出をするために実施する。

■調査対象

柏崎市公式LINE登録者

■調査方法

市公式LINEのアンケートフォーム

■調査期間

令和8（2026）年5月2日～5月16日

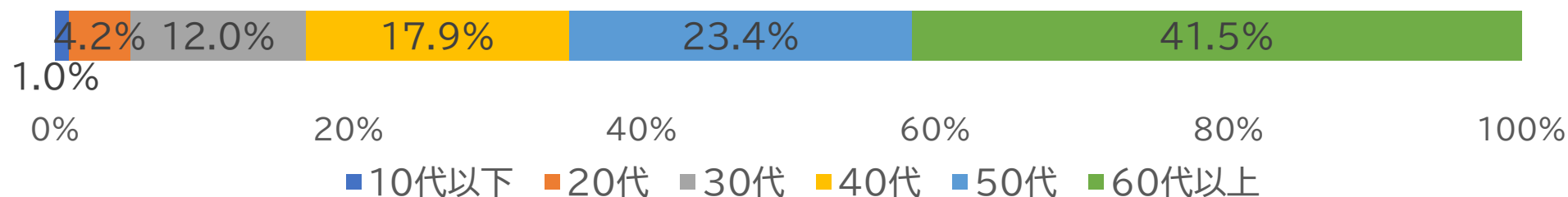
■回答数

LINE登録者数	23,767人（令和8（2026）年4月末現在）
回答数	1,124人

問1 あなたの年代を教えてください。

年代については、「60代以上」が41.5%と最も高く、次いで「50代」が23.4%、「40代」が17.9%となっています。

n=1,124



問2 あなたの性別を教えてください。

性別については、「女性」が61.6%、「男性」が37.7%となっています。

n=1,124



問3 あなたの居住地を教えてください。

居住地については、「柏崎市内」が96.3%となっています。

n=1,124



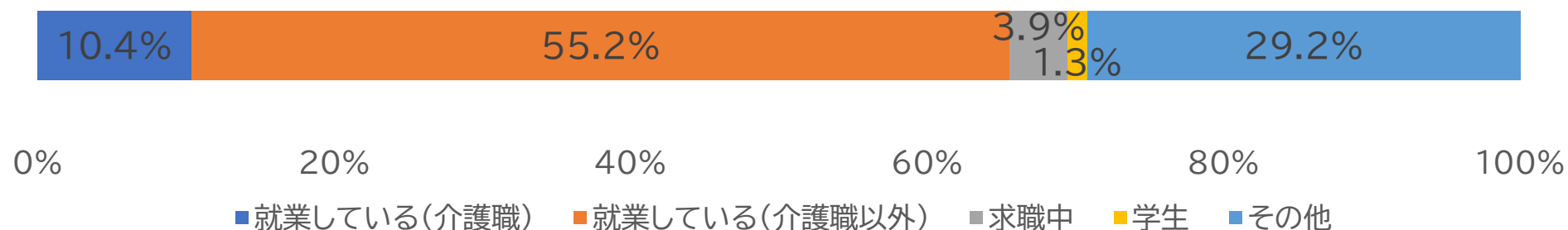
【年代／性別／居住地】

	柏崎市内				市外			総計			
	男性	女性	未回答	計	男性	女性	計	男性	女性	未回答	総計
10代	4	6		10	1		1	5	6	0	11
20代	11	31		42	2	3	5	13	34	0	47
30代	43	91		134		1	1	43	92	0	135
40代	56	136	4	196	1	4	5	57	140	4	201
50代	89	160	2	251	3	9	12	92	169	2	263
60代以上	201	246	2	449	13	5	18	214	251	2	467
総計	404	670	8	1,082	20	22	42	424	692	8	1,124

問4 あなたの現在の就労状況を教えてください

就業状況については、「介護職以外」が55.2%と最も高く、次いで「その他」が29.2%、「介護職」が10.4%となっています。

n=1,124



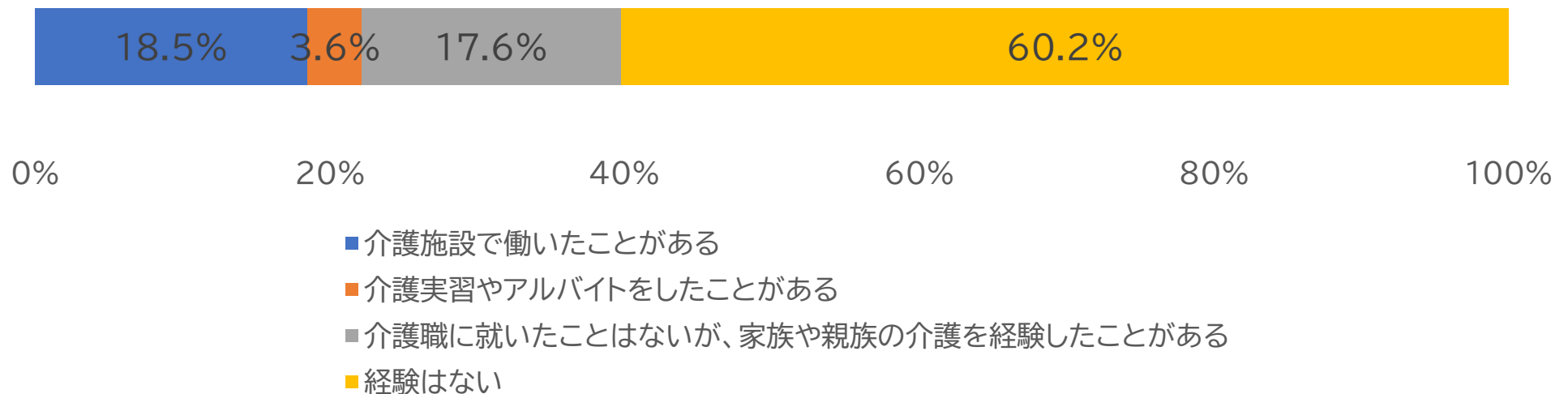
【就業状況／年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計
就業している (介護職以外)		32	94	140	199	155	620
就業している (介護職)		8	22	40	29	18	117
学生	10	4	1				15
求職中			9	5	7	23	44
その他	1	3	9	16	28	271	328
総計	11	47	135	201	263	467	1124

問5 これまで、介護の仕事（介護職員、看護補助、生活支援などを含む）をしたことはありますか？

介護職の経験については、「経験がない」が60.2%と最も高く、次いで「介護施設で働いたことがある」が18.5%、「介護職に就いたことはないが、家族や親族の介護を経験したことがある」が17.6%となっています。

n=1,124

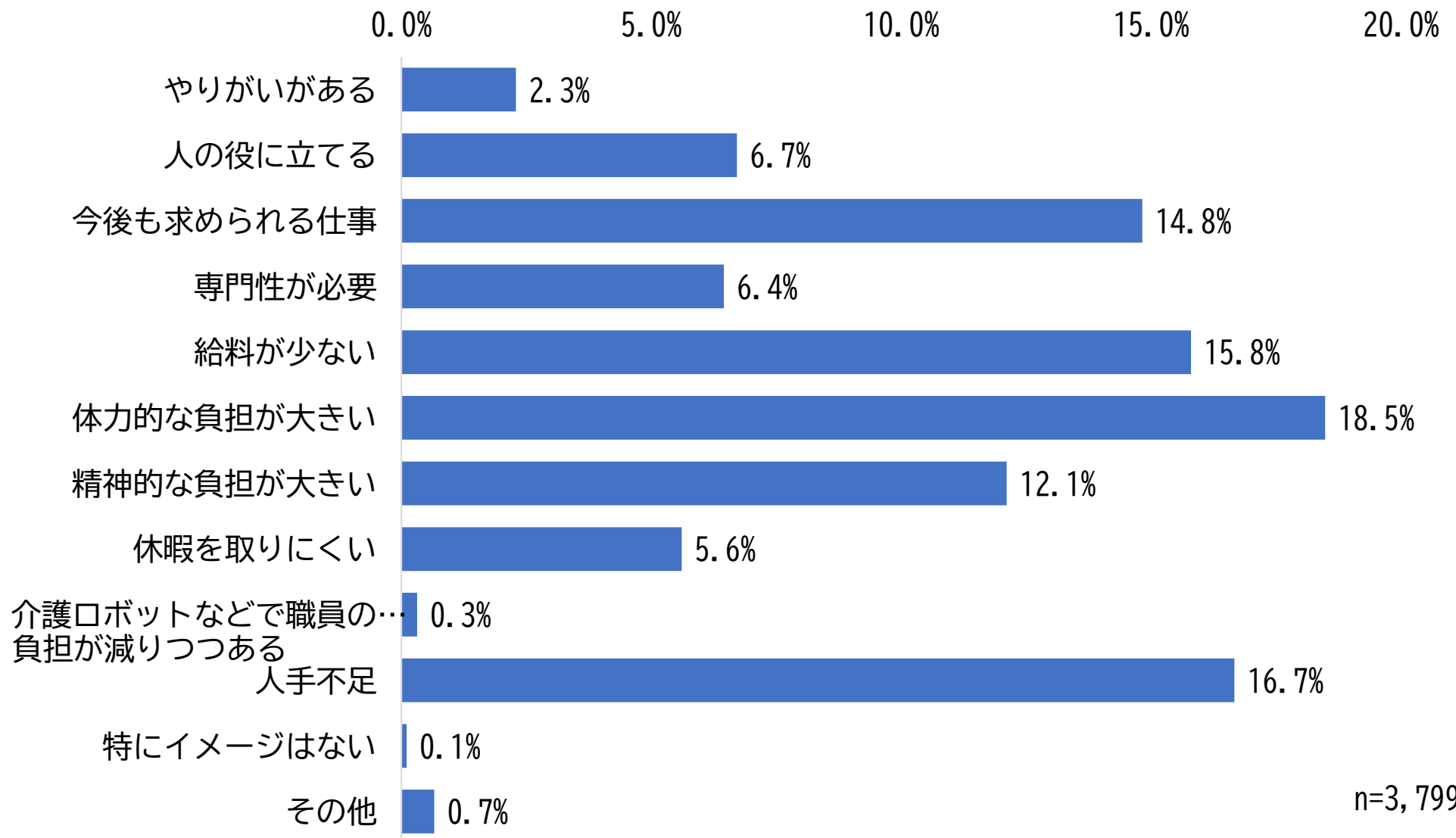


【介護経験／年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計
介護施設で働いたことがある	0.0%	1.1%	3.9%	5.3%	3.8%	4.4%	18.5%
介護実習やアルバイトをしたことがある	0.2%	0.4%	0.6%	1.0%	0.6%	0.9%	3.6%
介護職に就いたことはないが、家族や親族の介護を経験したことがある	0.1%	0.6%	1.2%	2.0%	4.0%	9.7%	17.6%
経験はない	0.7%	2.1%	6.3%	9.5%	14.9%	26.6%	60.2%

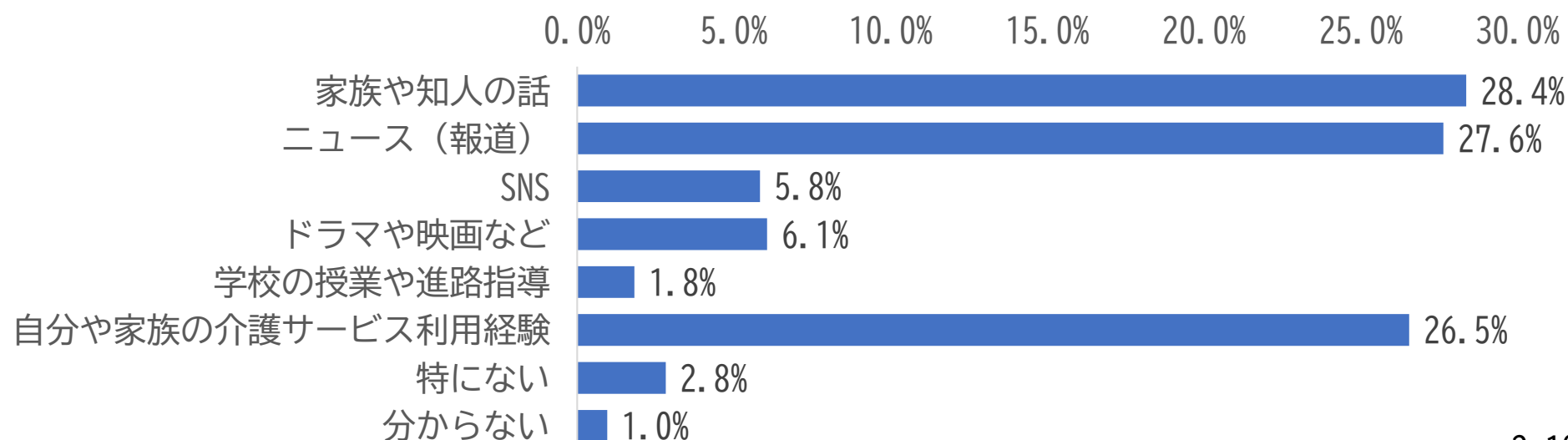
問6 介護職に対して、どのようなイメージを持っていますか？【上位3つまで】

介護職へのイメージについては、「体力的な負担が大きい」が18.5%と最も高く、次いで「人手不足」が16.7%、「給料が少ない」が15.8%、「今後も求められる仕事」が14.8%となっています。



問7 あなたの介護職へのイメージは何から影響を受けましたか？ 【上位3つまで】

介護職へのイメージの影響については、「家族や知人の話」が28.4%と最も高く、次いで「ニュース（報道）」が26.7%、「自分や家族の介護サービス利用経験」が26.5%となっています。



n=2,197

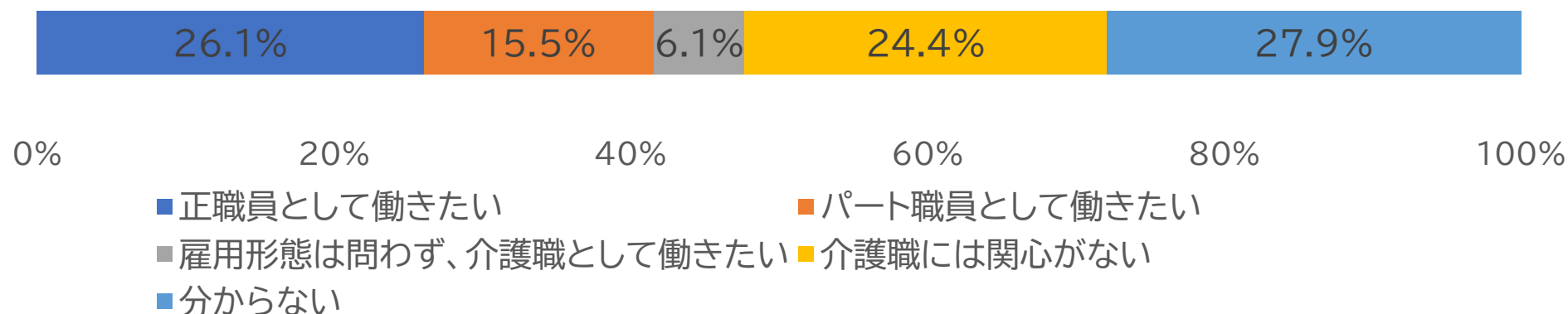
【介護へのイメージ／年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計
家族や知人の話	0.2%	1.1%	3.0%	5.0%	6.6%	12.5%	28.4%
ニュース（報道）	0.2%	1.5%	2.9%	4.2%	5.9%	13.0%	27.6%
SNS	0.2%	0.8%	1.6%	1.0%	1.0%	1.2%	5.8%
ドラマや映画など	0.2%	0.3%	0.6%	0.7%	1.5%	2.7%	6.1%
学校の授業や進路指導	0.2%	0.3%	0.5%	0.4%	0.2%	0.2%	1.8%
自分や家族の 介護サービス利用経験	0.0%	0.8%	2.5%	3.6%	5.5%	14.2%	26.5%
特にない	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%	0.9%	0.5%	2.8%
分からない	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	1.0%

問8 介護職で働くとしたら、どのような勤務形態がよいと感じていますか？

介護職で働く場合の勤務形態については、「わからない」が27.9%と最も高く、次いで「正職員」が26.1%、「関心がない」が24.4%となっています。

n=1,124

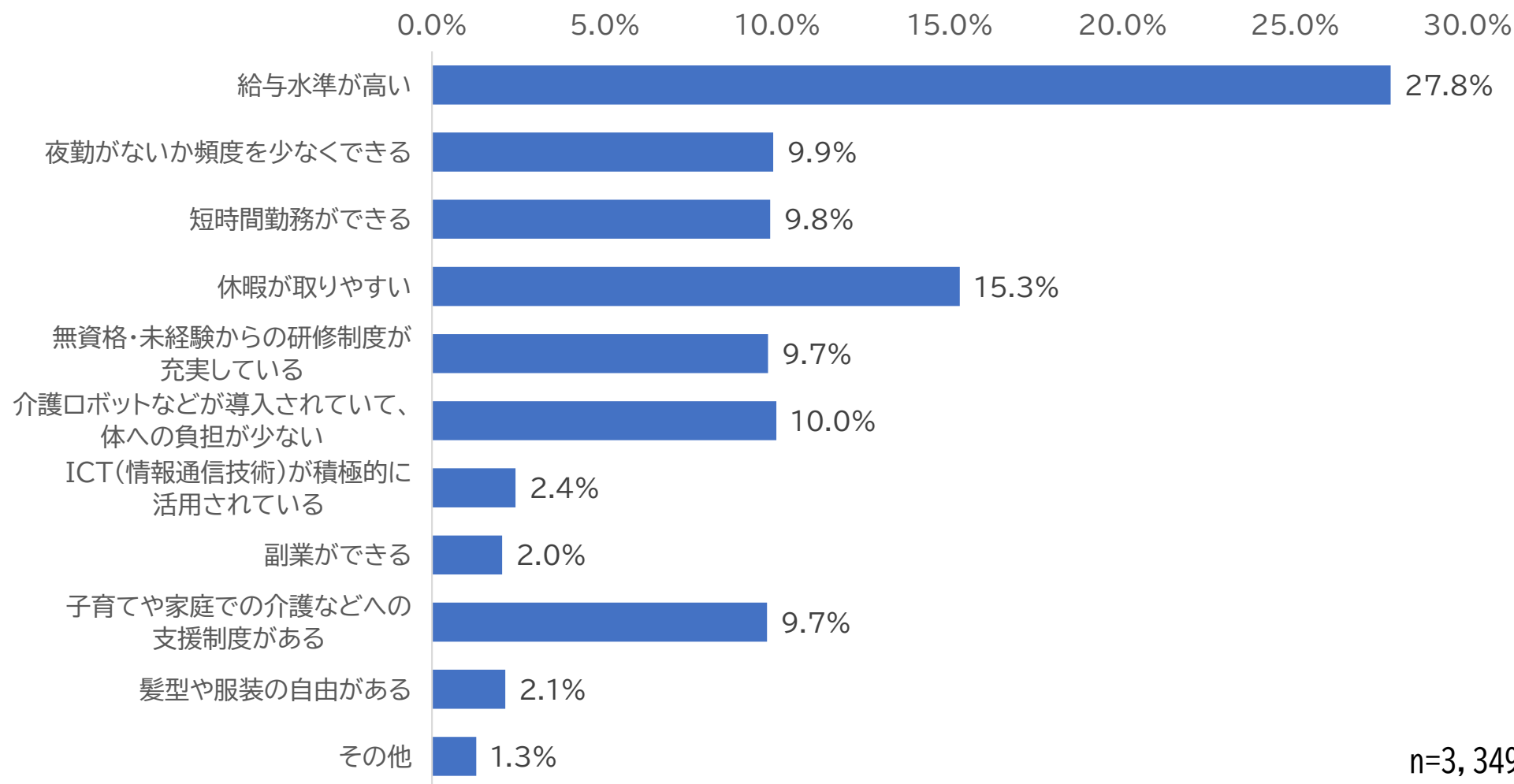


【介護へのイメージ／年代別】

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計
正職員として働きたい	0.2%	1.2%	4.3%	7.1%	6.4%	6.9%	26.1%
パート職員として働きたい	0.4%	0.7%	1.5%	2.0%	3.7%	7.2%	15.5%
雇用形態は問わず、 介護職として働きたい	0.0%	0.2%	0.4%	1.0%	1.2%	3.3%	6.1%
介護職には関心がない	0.3%	1.3%	3.9%	5.2%	6.3%	7.4%	24.4%
分からない	0.2%	0.7%	1.9%	2.7%	5.7%	16.8%	27.9%

問9 どのような条件が整えば、介護職を選びやすくなると感じますか？ 【上位3つまで】

介護職を選びやすくなる条件については、「給与水準が高い」が27.8%と最も高く、次いで「休暇が取りやすい」が15.3%、「介護ロボットなどが導入されていて、体への負担が少ない」が10.0%となっています。



n=3, 349

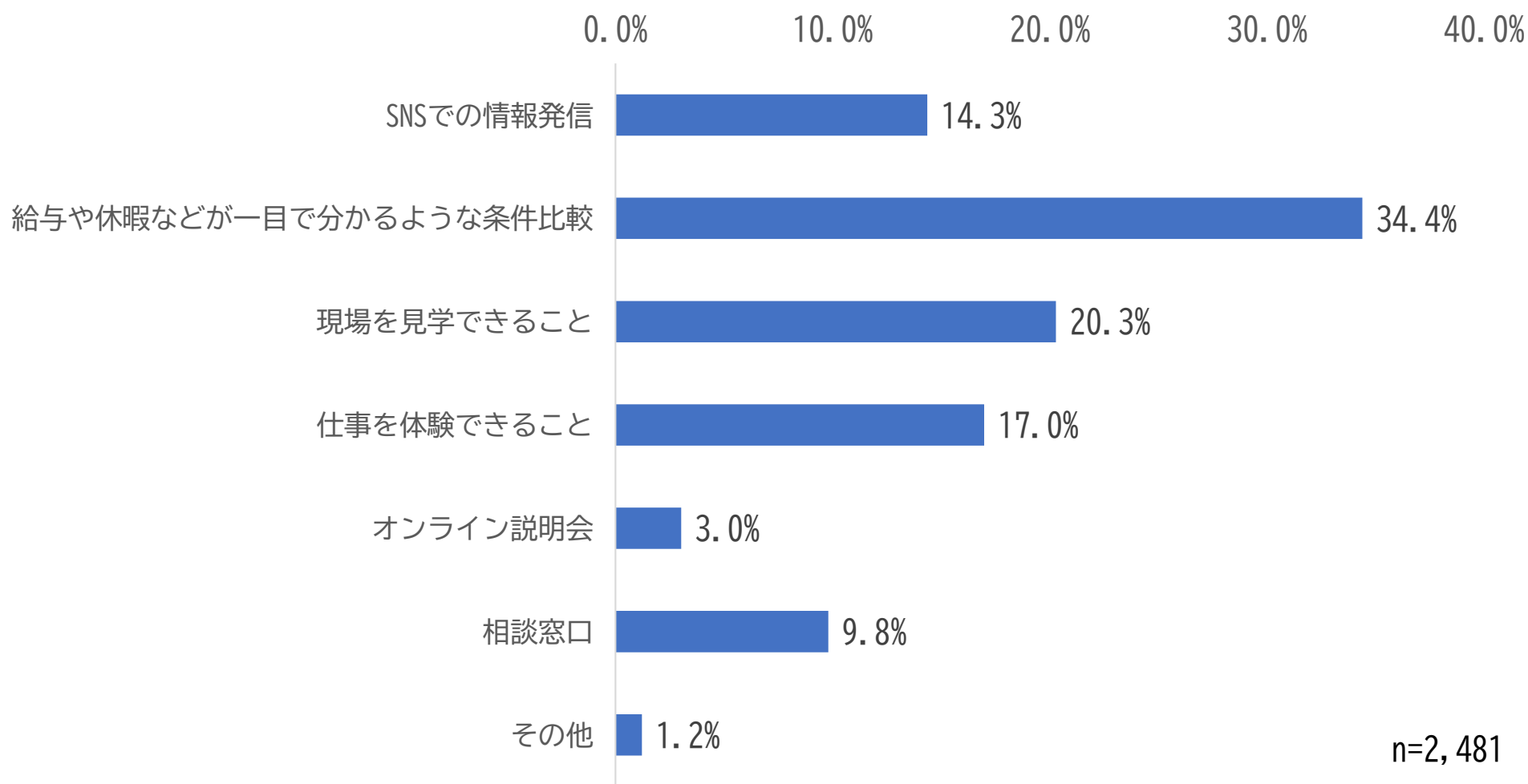
問9 クロス集計

【介護職の条件／年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計
給与水準が高い	0.3%	1.3%	3.6%	5.3%	6.5%	10.8%	27.8%
夜勤がないか頻度を少なくできる	0.0%	0.3%	1.4%	1.7%	2.5%	3.9%	9.9%
短時間勤務ができる	0.1%	0.2%	1.0%	1.0%	2.2%	5.2%	9.8%
休暇が取りやすい	0.1%	0.5%	2.4%	3.4%	3.6%	5.1%	15.3%
無資格・未経験からの研修制度が充実している	0.1%	0.4%	0.9%	1.6%	2.6%	4.2%	9.7%
介護ロボットなどが導入されていて、体への負担が少ない	0.1%	0.5%	1.0%	1.4%	2.4%	4.6%	10.0%
ICT（情報通信技術）が積極的に活用されている	0.0%	0.2%	0.4%	0.5%	0.6%	0.7%	2.4%
副業ができる	0.1%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	2.0%
子育てや家庭での介護などへの支援制度がある	0.1%	0.6%	1.7%	1.7%	2.1%	3.6%	9.7%
髪型や服装の自由がある	0.1%	0.3%	0.6%	0.6%	0.5%	0.1%	2.1%
その他	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%	1.3%

問10 介護職の情報発信方法や情報提供の内容で、力を入れてほしいものがありますか？【上位3つまで】

介護職の情報発信や情報提供等で力を入れてほしいものについては、「給与や休暇などが一目で分かるような条件比較」が**34.4%**と最も高く、次いで「現場を見学できること」が**20.3%**、「仕事を体験できること」が**17.0%**となっています。



問 1 1 介護職のイメージが良くなるために、必要だと思うことを自由に
入力してください【自由記載】

主な回答のカテゴリー	回答内容の傾向
給与・待遇の改善	給与アップ、賞与充実、手当増、福利厚生充実
労働環境・勤務体制の改善	人員確保、夜勤削減、休暇取得容易化、短時間勤務
職場環境・人間関係	職場の雰囲気改善
ハラスメント対策・職員保護	利用者・家族からの暴力暴言対策、相談窓口設置
教育・研修・スキルアップ	研修充実、資格取得支援、人材育成
情報発信・PR・広報	やりがいの発信、体験機会、SNS活用、メディア露出
業務負担軽減・技術導入	ロボット導入、ICT化、業務効率化、身体負担軽減
社会的地位・専門性の向上	看護師並みの評価、プロ意識、国家資格化

考察まとめ

■回答者属性分析

60代以上**41.5%**が中心で、女性が**61.6%**。市民の介護への関心は高いが、若年層の回答が少ないことから、年代別アプローチが必要。

■介護職経験と認識のギャップ

介護経験がない人が全体の**60.2%**と多く、介護職へのイメージもネガティブな認識が多い。認識を変えるには、実際に改善された労働環境の提示が必須。

■給与・労働条件へのマイナスイメージ

給与改善**27.8%**、休暇取得**15.3%**や短時間勤務**9.8%**、子育て等への支援**9.7%**など、給与だけでなく、福利厚生などの充実を期待している。

■体力負担への懸念と技術への期待

体力負担**18.5%**が最大のネガティブイメージ。介護ロボット導入**10.0%**の認識は低いが、技術導入事例の発信で、新しい介護職像を提示できる可能性が高い。

■人手不足への対応

介護業界に対する人手不足（**16.7%**）が認識されている。市民に対しては「介護職は改善されている」「社会に必要とされる仕事」というポジティブなPRが今後必要。

■「体験・見学」による認識改革の可能性

37.3%が体験・見学を希望しており、実際の職場環境を知ることで、イメージが改善される可能性が高い。

■仕事の社会的価値の認識

14.8%が「今後も求められる仕事」を選択しており、体力負担**18.5%**、人手不足**16.7%**など、ネガティブなイメージと比較しても、一定数が介護職の必要性を認識している

■情報発信の方向性の在り方

ニュース報道（**27.6%**）でのネガティブな情報。「給与・休暇・働き方」の具体的な情報を発信することや、学校の授業、進路指導で、ネガティブなイメージを上書きできる可能性も。